

あ と が き

学生生活調査はほぼ4年毎に実施されていますが、今回で23回目を迎えました。この調査は、学生の生活・学習・研究環境の現状を知り、それらがどのように変化しているかを把握するために行われています。そして、この分析結果は学生を支援するための基礎資料として利用されてきました。

調査は、今回も前回と同様に、インターネット上でのアンケート調査で行いました。この方式の特徴は多くの学生からの回答を低予算で効率的に集計することができる点です。回収率を良くするために、大学のホームページやポスターなどのツールを利用して学生に広く周知しましたが、学生がこのようなウェブによるアンケート調査に慣れてきていることも幸いして、今回は学生全体の回収率が16%と前回よりも3%向上しました。内訳は、学部15%、大学院前期課程22%、後期課程10%で、特に大学院生の回収率が大幅によくなりました。

各調査項目の結果については、本文を参照していただきたいと思います。前回と同様、ウェブベース方式で行ったため、自由記述の部分に非常に多くの意見が書かれていました。この報告書では、個人が特定される可能性のある記述や誤字脱字は一部削除・訂正しましたが、意味がよくわからない記述も含めて基本的にすべての意見をそのまま掲載しました。そして内容に関しては、学内連絡バスについて改善を求める声が非常に多く、また図書館や食堂・購買に対する要望も多く記載されていました。さらに講義、シラバス、KOANや学舎・キャンパスの環境整備、そして学生に対する事務窓口の対応などに関する提言や苦言も目立ちました。

この調査は大学の改善に役立てるために実施しており、学生もそれを期待しています。是非とも調査だけで終わらせずに大学全体で有効に活用していただけることを望みます。

最後に、貴重な時間を割いて本調査のためにご協力いただいた学部生・大学院生の皆さん、および関係各位に心から感謝いたします。

平成26年3月

第23回学生生活調査専門委員会